

平成 23 年 5 月 31 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は生産活動や個人消費の一部が弱含み、雇用情勢も低調に推移するなど、全体として厳しい状態が続いているものの、観光関連の一部で持ち直しの動きがみられる。

生産活動は、電子部品関連が弱含み、食品関連は伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額が前年をわずかに上回ったものの、新車販売台数（乗用車・軽自動車）は震災の影響により大きく落ち込んでいる。投資関連では、公共工事、住宅着工が減少した一方、民間建築工事は増加したものの、依然として低水準。観光入り込み客数は、九州新幹線全通効果により持ち直しの動きがみられる。

【生産活動】 … 弱含み

電子部品関連は、弱含んでいる。震災による原材料調達懸念は薄らぎつつあるものの、受注の動きは弱い。

4 月の**生コン生産（出荷量）**は、民間工事向け出荷は前年を上回ったものの、公共工事向け出荷が前年を下回り、全体で 0.5% 減となった。

4 月の**紙パルプ生産**は、3 カ月連続で前年を上回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が低調なことから、製材品が生産、出荷ともに低迷している。

焼酎の生産・出荷は前年割れが続いている。

3 月の**かつお節生産**は、2 カ月連続で前年を下回った。

【畜産関連】 … 持ち直している

肉用牛（和牛）の枝肉相場は低調に推移する一方で、4月の子牛価格は前年を上回った。豚肉相場は枝肉の出荷量減少により、前年を上回っている。ブロイラー相場は品薄感から、もも肉、むね肉ともに前年を上回っている。鶏卵相場は前年を上回る水準で推移している。

【消費関連】 … 一部で悪化

3月の大型小売店（百貨店・スーパー）販売は、例年より気温が低く春物衣料品の動きが鈍かったことなどから衣料品は前年を下回った。一方、飲食料品は震災以降飲料水や保存食品などが伸び、前年を上回った。全体では0.4%増と3カ月連続で前年を上回った。

4月の乗用車新車販売台数は、被災工場の復旧遅れによる供給不足が続き、56.9%減と7カ月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は64.8%減、小型車は50.8%減となった。また、軽自動車も46.0%減と7カ月連続で前年を下回った。

【観光関連】 … 一部で持ち直しの動き

4月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、3.2%減と14カ月連続で前年を下回った。鹿児島地区は九州新幹線全通効果により前年を上回った。指宿地区も観光客の入れ込みが好調に推移し、前年をわずかに下回るにとどまった。一方、霧島地区は前年を大幅に下回った。種子島・屋久島地区は団体客が減少し前年を下回った。4月の主要観光施設入場者数は、九州新幹線全通効果で利用・入場者数が前年を上回る施設が増えた。

【投資関連】 … 低調

4月の公共工事は、件数は前年を上回ったが、請負金額は前年を下回った。

3月の民間建築工事は、件数、床面積、工事費予定額のすべてにおいて前年を上回ったものの、水準は低い。3月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲が前年を上回ったものの、貸家が前年を下回り、全体で1.6%減と2カ月ぶりに前年を下回った。4月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、前年を上回った。

【貿易関連】 … 輸出は持ち直しつつある

3 月の**輸出額**は、半導体等電子部品やタイヤ・チューブが前年を上回り、全体で 85.8% 増と 2 カ月連続で前年を上回った。**輸入額**は、原油及び粗油が前年を下回り、全体で 8.8% 減と 2 カ月ぶりに前年を下回った。

【雇用情勢】 … 緩やかに改善

3 月の**有効求人倍率**は、前月を 0.01 ポイント上回る 0.52 倍と緩やかに改善しているが、雇用情勢は依然として厳しい。

【金融情勢】 … 低調

資金需要は、総じて弱含んでいる。

【企業倒産】 … 低水準で推移

4 月の**企業倒産**は、件数が 8 件と前年同月（2 件）を上回り、負債総額も 7 億 29 百万円と前年同月（7 億 20 百万円）を上回った。

以 上